



生まれてくる 赤ちゃんとお母さんの 命を守ってください！

カメルーンにおける「産科病棟建設プロジェクト」

ドウメ地区病院には妊産婦が安全に出産できる設備がなく、この地域では出産により命を落とす母子が後を絶ちません。この病院に産科病棟を新たに建設することで、彼女らの命と健康を守ります。

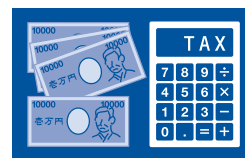
一口100万円で
個人もしくはグループで
ご支援いただく
プロジェクトです。
ご支援いただくと、



活動地域を
ご訪問
いただけます。



お名前の
記念プレート
を設置します。



税制上の
優遇措置*
を受けられます。

*寄付金控除



カメルーンにおける「産科病棟建設プロジェクト」

カメルーンの5歳未満児死亡率は出生1,000人当たり80人(ユニセフ子供白書2017)と、世界的にみても大変深刻な数です。保健・医療サービスの欠如により、妊産婦が産前産後に適切なケアを受けられないことや乳幼児の栄養不良などがその大きな原因となっています。

活動期間	2018年7月～2019年6月(予定)
実施地域	ベルトゥア
主な活動内容	分娩室を併設した産科病棟の建設 分娩台を含むベッドや医療備品の支給 給水設備の設置 産前産後健診の推進 医療従事者を対象とした新生児ケアトレーニング 「性と生殖に関する健康・権利」に関するトレーニング
対象者	妊産婦2,000人と出産適齢期の女性3,000人
予算	1,000万円



このプロジェクトは、持続可能な開発目標(SDGs)の目標3(あらゆる年齢の全ての人の健康的な生活を保障し、福祉を促進する)、目標5(ジェンダー平等を実現しよう)に貢献します。

これまでに実施したプロジェクトの様子



産前産後健診で順番を待つ妊産婦



発育状態を確認するため乳幼児の腕周りを計測

一口100万円プロジェクトだからできることがあります

「これまでの参加者の声」

複数の支援者と一緒
に活動地域に大きな成果をもたらすことができました。

60歳の退職の記念に、短期間で結果が出て形に残る支援ができました。



診療所内の様子

プロジェクト担当者からのメッセージ



シリ・カリネ
プログラム・コーディネータ(カメルーン国統括事務所)

カメルーンは、サハラ以南に位置する最貧国のひとつです。近年は周辺国からの難民の流入により、状況はさらに厳しくなっています。このたび、農村地域の病院に産科病棟を備えることができるようになり、大変うれしく思っています。医療施設を整備し、そこで働く人材を育成することで地域の妊産婦や新生児の健康が守られます。ひとりでも多くの方々にご賛同、ご支援をいただき、この事業が成功しますよう心から願っております。

ご関心のある方は、ご連絡ください。あたたかいご支援をお待ちしております。

